

平成28年8月27日

平成28年8月20日からの大雨による出水の概要

～観測史上初めて、北海道に3つの台風が上陸

したことによる大雨に対応しました～

8月17日の台風第7号に続き、北海道上空の停滞前線と、台風第9号・第11号が連続して上陸し、広範囲の複数の河川において大きな出水となりました。この出水の概要について別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

北海道上空の停滞前線や台風第9号・第11号が連続して上陸するなど8月20日からの大雨に伴い、計画高水位を越えた河川は、石狩川や常呂川など4河川に及び、鷗川など5河川ではん濫危険水位を超えるなど、広範囲の複数の河川において大きな出水となりました。

北海道開発局では、24時間体制で気象及び河川等を監視し、洪水予報や水防警報等の発表を行うとともに、ダム等の管理施設の操作を行いました。自治体にリエゾンを派遣し情報収集や自治体支援についての調整を行うとともに、自治体からの要請を受け、災害対策車によるはん濫箇所等の排水作業を行うなど、自治体の支援を行いました。

特に常呂川では、堤防からの越水が4箇所発生したほか、支川2箇所で堤防の一部が決壊しました。このような被災箇所については、緊急復旧工事等を行いました。

引き続き、早期の復旧を図るとともに、被害の軽減を図ってまいります。

詳細は、別紙を参照ください。

※リエゾン（現地情報連絡員）

…災害時、北海道開発局から自治体へ連絡員を派遣し、両者相互の情報共有や連携を密にするものです。

【問合せ先】	北海道開発局 建設部 河川管理課	電話(ダイヤル)011-709-2347
	水災害予報センター長 山田	(内線 5323)
	課長補佐 梶井	(内線 5294)
	水災害予報専門官 五十嵐	(内線 5529)